

セミナー資料No.2 派遣海上支援部隊の活動

講師：海上自衛隊阪神基地隊司令

佐々木 孝宣（ささき たかのぶ）海将補

防衛問題セミナー

テロに立ち向かう自衛隊 9.11テロから6年。国際社会における責任を果たすために

派遣海上支援部隊の活動

防衛省

平成19年10月

次 第

海上阻止活動の概要

洋上補給の概要

隊員の勤務状況

外国艦艇からの謝意

海上阻止活動の概要

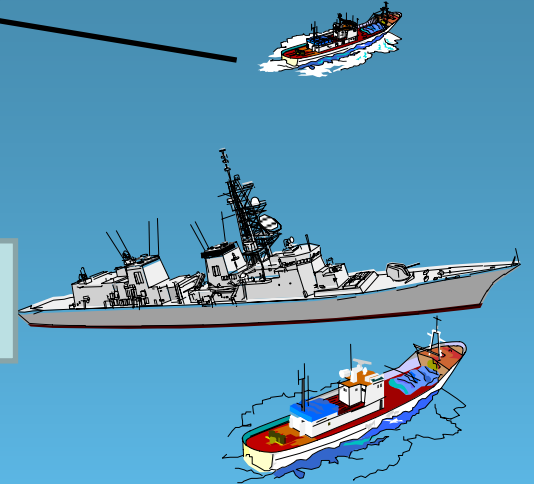
海上パトロールイメージ



無線照会
(諸外国海軍)



立ち入り検査
(諸外国海軍)



補給支援(海自)

活動開始(2001年9月)以降の活動の総計

無線照会 約14万回以上

立入検査 約1万1千回以上

無線照会数の推移: 現場海域における不審船
等が減少

○2004年 約4万1千回 } 約65%減少

○2005年 約1万4千回 } 約35%減少

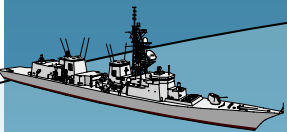
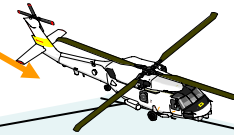
○2006年 約9千回

洋上補給の概要

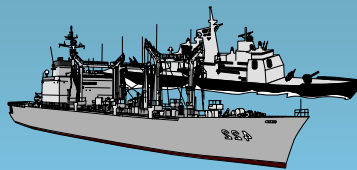


艦載ヘリ

- 水上目標搜索・確認
- 前方警戒
- 近接する付近航行船舶の船名の確認



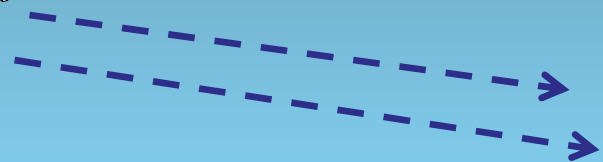
1,000m



護衛艦

- 海中転落者の救助艦
- 対空目標全周警戒
- 近接する船舶への対応
→ 国際VHFでの避航要請

補給艦



併走しながら補給

洋上警戒



行動の概要

13年11月～

護衛艦:3隻
補給艦:2隻
ヘリコプター:5機
人員:約950名

14年11月～

護衛艦:2隻
補給艦:1隻
ヘリコプター:2機
人員:約600名

17年7月～

護衛艦:1隻
補給艦:1隻
ヘリコプター:2機
人員:約330名

延べ参加隻数:59隻

延べ参加人数:約11,000名



航海経路

約3週間

約4か月

約3週間

活動地域への前進

活動

帰路

(NM)

派遣部隊(第19次)の編成

内閣総理大臣 安倍 晋三

防衛大臣 高村 正彦

統合幕僚長 海将 齋藤 隆

インド洋方面派遣部隊指揮官
自衛艦隊司令官 海将 香田 洋二

派遣海上支援部隊指揮官
第6護衛隊司令 1等海佐 尾島 義貴

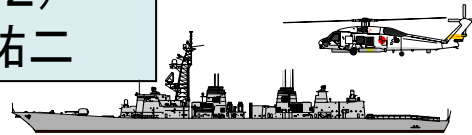
司令部

護衛艦きりさめ(艦載ヘリ×2)
艦長 2等海佐 福原 祐二

補給艦ときわ
艦長 2等海佐 菅原 貞眞

派遣 期間	進 出	19.7.13 ~ 8. 4
	支援活動	19.8. 4 ~

約340名



派遣3回目
前回派遣:17年11月
~18年4月



派遣5回目
前回派遣:17年11月
~18年4月

派遣中の艦艇

補給艦ときわ



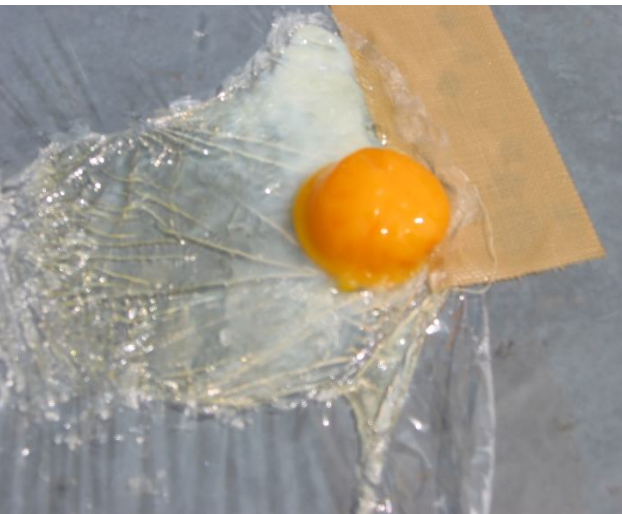
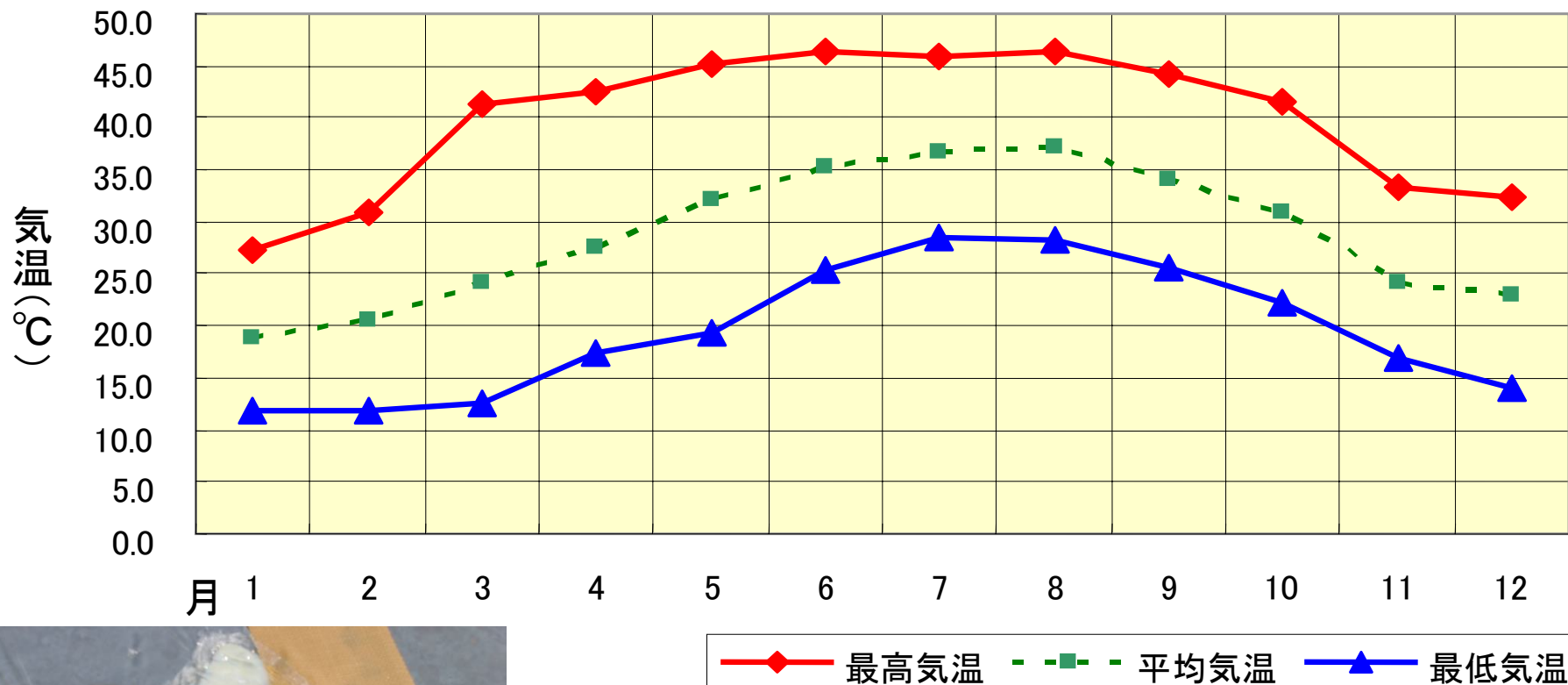
基準排水量 (長さ)	速力	装備
8150トン (167m)	22ノット	洋上補給装置 補給品艦内移送装置

護衛艦きりさめ



基準排水量 (長さ)	速力	装備
4550トン (151m)	30ノット	高性能20ミリ速射砲 76ミリ速射砲 VLS装置 SSM装置 アスロック装置 短魚雷発射管 哨戒ヘリコプター (SH-60J)

隊員の勤務状況



酷暑対策

- 酷暑服の着用
- 露天甲板勤務場所への天幕の装備
- 熱中症対策の実施
 - 水分補給
 - 温度湿度の計測と注意喚起
 - 洋上補給実施の時間選定



乗員の作業



洋上補給



機器の整備



食 事



入 浴



ベッド



休憩スペース

外国艦艇からの謝意



フランス艦艇から手旗信号



パキスタン艦艇の例

艦長からメッセージ

“We are a proud to operate with great ships of great nations.”

私たちは、偉大な国の偉大な船とともに活動できることを誇りに思う



海自補給艦に対し敬礼する艦艇(イギリス)



手を振るヘリコプター搭乗員(ドイツ)

パキスタン艦艇を研修

- 日側 前任隊付、各艦副長等5名が研修
- 基側 艦長、前任幹部等5名が「すずなみ」研修



イギリス艦艇を訪問

- 前任隊付、すずなみ副長が訪問
- 支援洋上補給に係る業務調整等





イルカの歓迎(おうみ)